



2023年3月期 決算説明会資料

プライム市場 証券コード6482

2023年5月11日(木)

株式会社ユーシン精機

➤ 2023年3月期業績

- ・売上高は、日本、北米、イギリスでの販売増加により**増収（過去最高）**
- ・営業利益は、原材料価格、海上輸送費の高騰および人件費の増加等により**減益**

➤ 2024年3月期予想

- ・売上高は、取出口ロボット売上の下支えに加え、欧州でのメディカル向け大口特注案件の売上を見込み、**増収予想**
- ・営業利益は、更なる原材料価格高騰および将来に向けた人財投資を見込み、**減益予想**

➤ トピックス

- ・サステナビリティ基本方針の決定およびマテリアリティの特定（2023年2月）
- ・ショールームをオープン（2023年2月）

	2022/3	2023/3	
	金額	金額	伸び率
売上高	百万円 20,874	百万円 22,373	% 7.2
売上総利益 (売上総利益率)	8,991 43.1%	9,573 42.8%	6.5
営業利益 (営業利益率)	2,890 13.8%	2,639 11.8%	▲8.7
経常利益 (経常利益率)	3,085 14.8%	2,787 12.5%	▲9.7
親会社株主に帰属する 当期純利益 (純利益率)	2,112 10.1%	1,922 8.6%	▲9.0
<為替レート> 米ドル/円	112.38円	135.47円	

(+)増加要因 (-)減少要因

	(+)増加要因 (-)減少要因
売上高	<p>➤ 前期比7.2%増の22,373百万円</p> <ul style="list-style-type: none">・ 取出口ボットは前期比0.9%減<ul style="list-style-type: none">(-) 中国市況の減速(+) 調達難のなか納期厳守を継続・ 特注機は前期比41.0%増<ul style="list-style-type: none">(+) 国内外の特注機需要が堅調(+) メディカル関連大口特注機の出荷・売上・ 部品・保守サービスは前期比10.0%増<ul style="list-style-type: none">(+) 経済活動の再開による需要の回復・ (+) 価格改定、為替の円安へのシフト
営業利益	<p>➤ 前期比8.7%減の2,639百万円</p> <ul style="list-style-type: none">(-) 材料費および海上輸送費の高騰(-) 人財投資に伴う人件費の増加(+) 為替の円安へのシフト(+) 業務効率化の推進、減価償却費の低減

	2023/3	2024/3 (予想)	
	金額	金額	伸び率
	百万円	百万円	%
売上高	22,373	23,000	2.8
売上総利益 (売上総利益率)	9,573 42.8%	9,400 40.9%	▲1.8
営業利益 (営業利益率)	2,639 11.8%	2,400 10.4%	▲9.1
経常利益 (経常利益率)	2,787 12.5%	2,400 10.4%	▲13.9
親会社株主に帰属する 当期純利益 (純利益率)	1,922 8.6%	1,600 7.0%	▲16.8
<為替レート> 米ドル/円	135.47円	125.00円	

(+)増加要因 (-)減少要因

売上高

▶ 前期比**2.8%増**の23,000百万円

・取出口ボットは前期比0.4%減

(+) **メディカル・モビリティ**関連等は堅調

(-) グローバルで企業の設備投資に**不透明感**

・特注機は前期比13.5%増

(+) **メディカル関連**大口特注機は引き続き好調

(+) 自動化需要の継続

営業利益

▶ 前期比**9.1%減**の2,400百万円

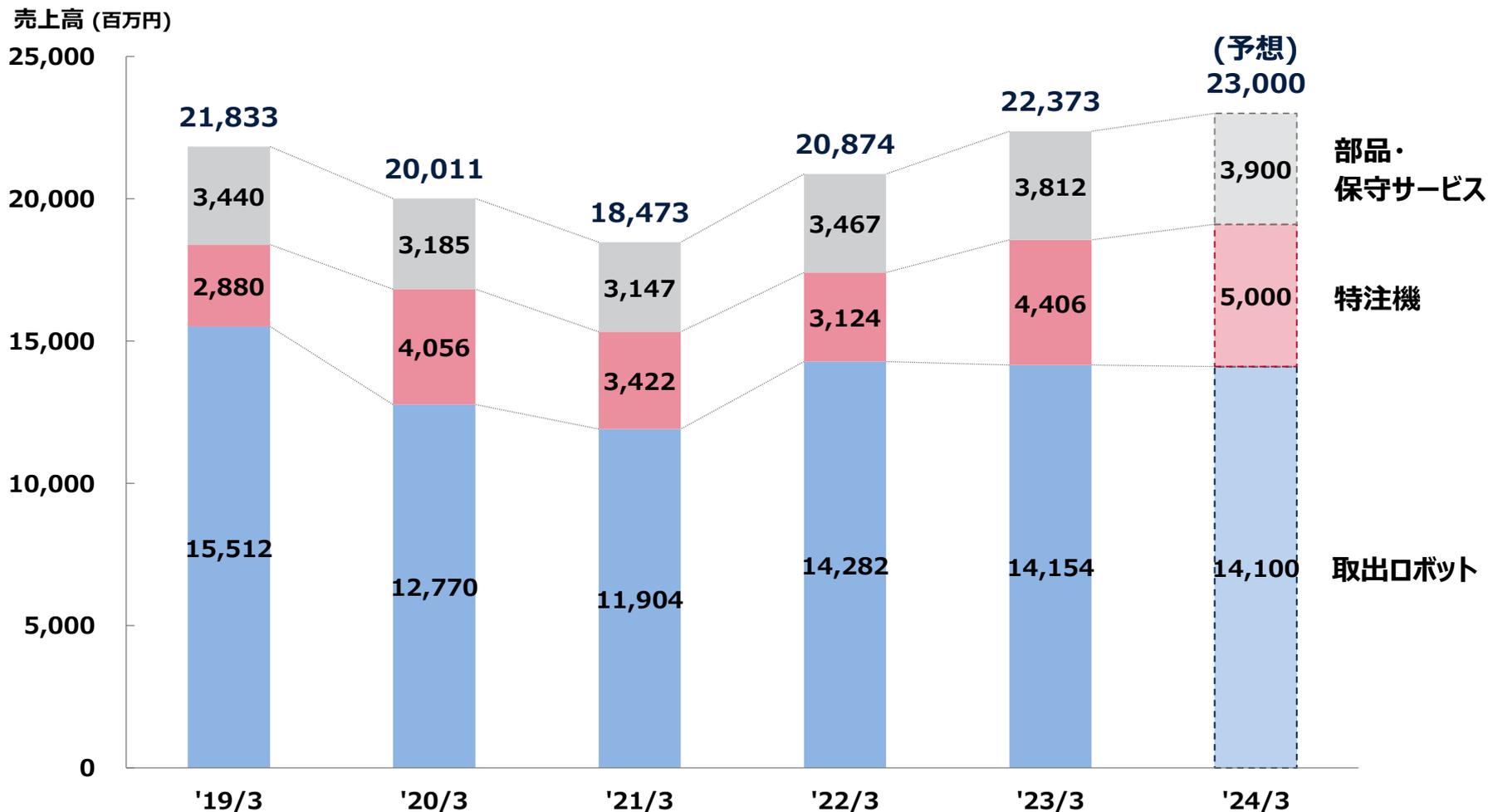
(+) 売上増に伴う増益

(-) 材料費の**高騰**

(-) **人財投資**に伴う人件費の増加

品目別売上高

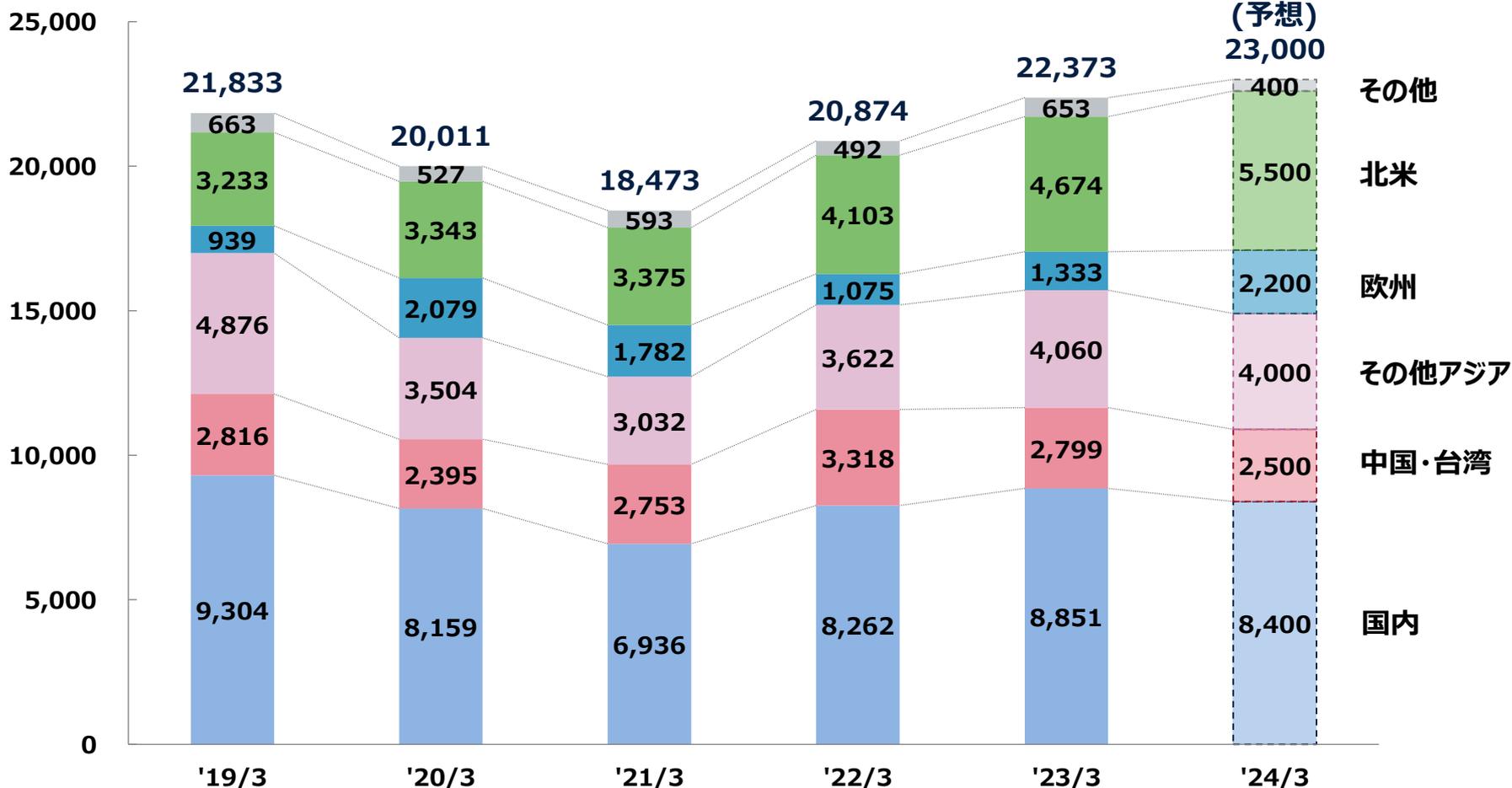
- ▶ '23年3月期は、特注機でメディカル向け大口案件が売上
- ▶ '24年3月期も、メディカル向け大口案件の売上を見込む



地域別売上高

- ▶ '23年3月期は、中国ロックダウンの影響があったが、**日本・北米・欧州・その他アジア**で販売が**増加**
- ▶ '24年3月期は、下期に**欧州**で**メディカル向け大口案件**の売上を見込む

売上高 (百万円)



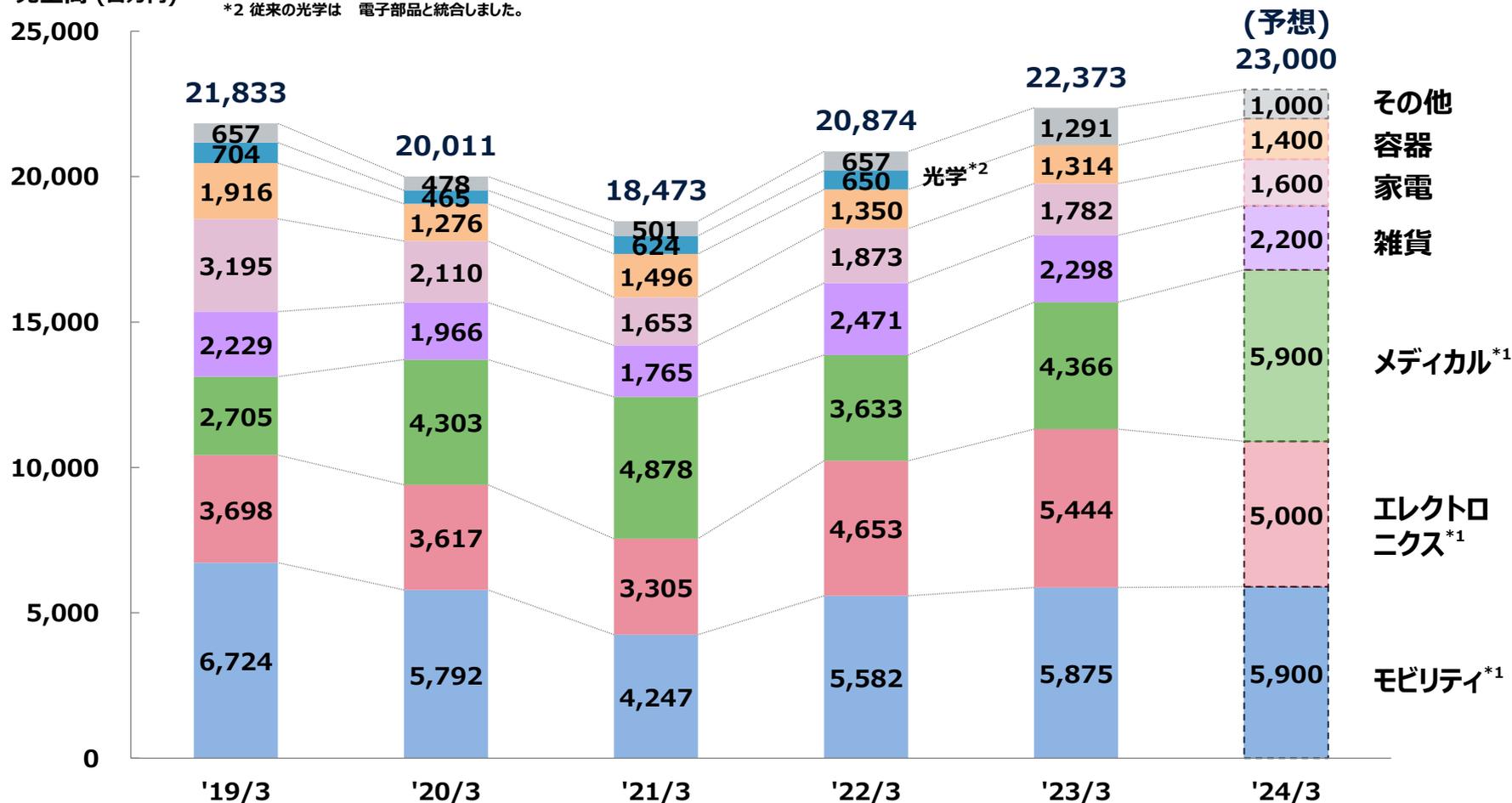
業種別売上高

- ▶ '23年3月期は、国内・北米で**エレクトロニクス向け**が伸長、**モビリティ向け**も前年同期比増加
- ▶ '24年3月期は、下期に**欧州でメディカル向け大口案件**の売上を見込む

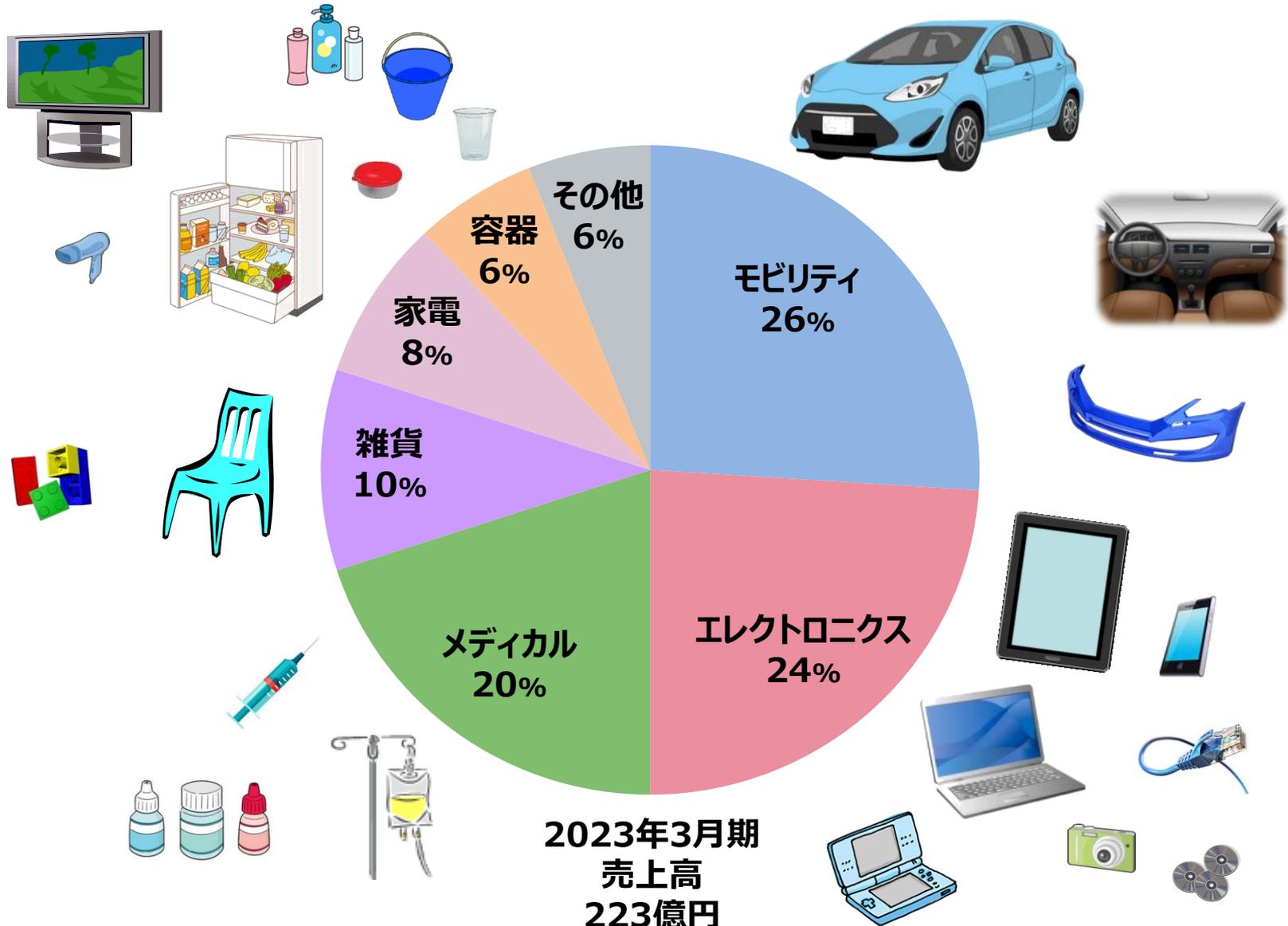
売上高 (百万円)

*1 従来の「自動車」、「電子部品」、「医療」はそれぞれ、「モビリティ」、「エレクトロニクス」、「メディカル」に名称変更しました。

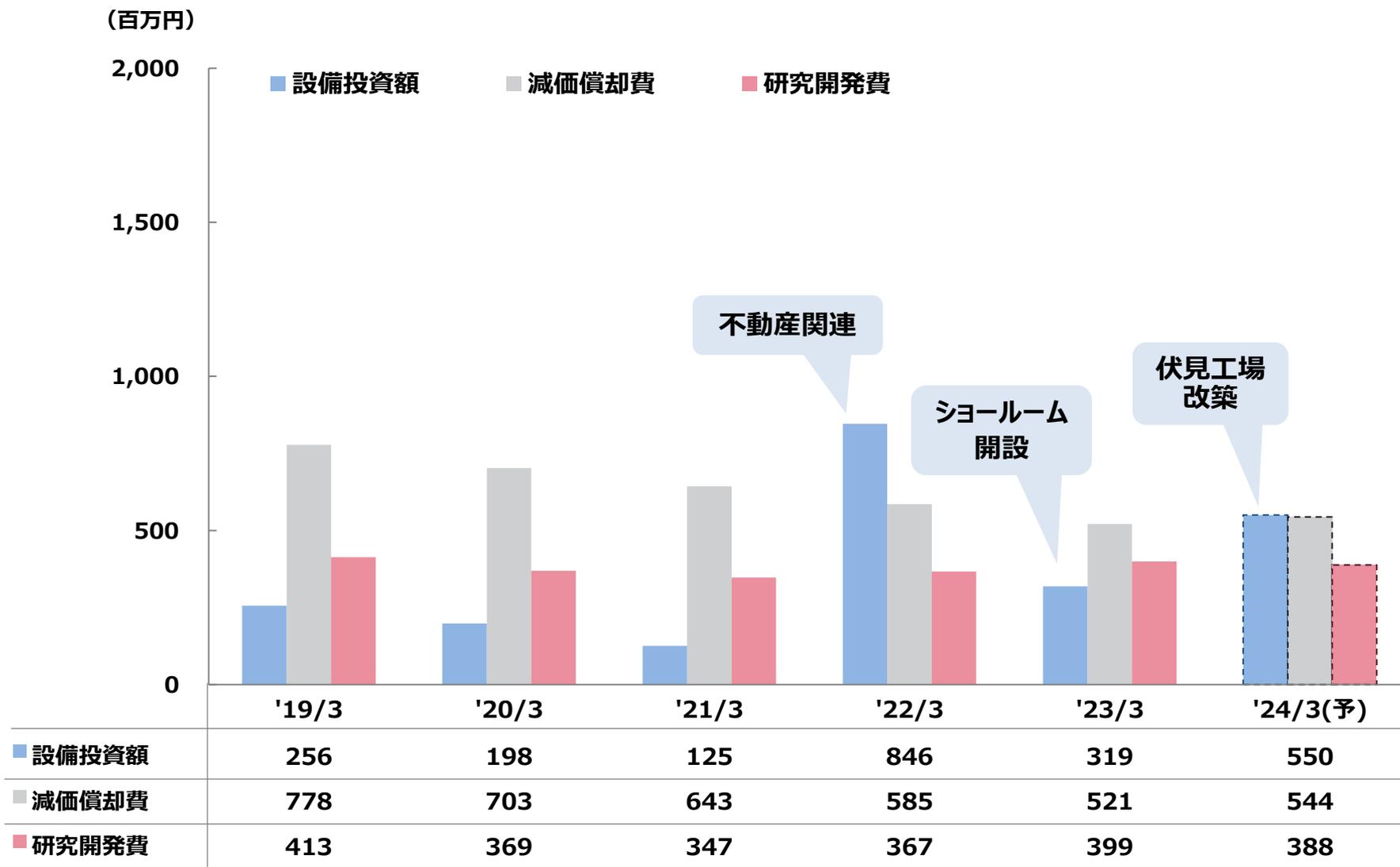
*2 従来の光学は 電子部品と統合しました。



業種別売上高構成



設備投資・減価償却費・研究開発費



中期経営目標

2023年3月期

- 連結売上高：223億円
- 連結経常利益：27億円
- 経常利益率：12.5%
- 1株当たり利益：56円

- 連結売上高：300億円以上
- 連結経常利益：50億円以上
- 経常利益率：15%以上
- 1株当たり利益：75円以上

戦略④ 新規事業の開拓

戦略③ 次世代を切り開く人財育成

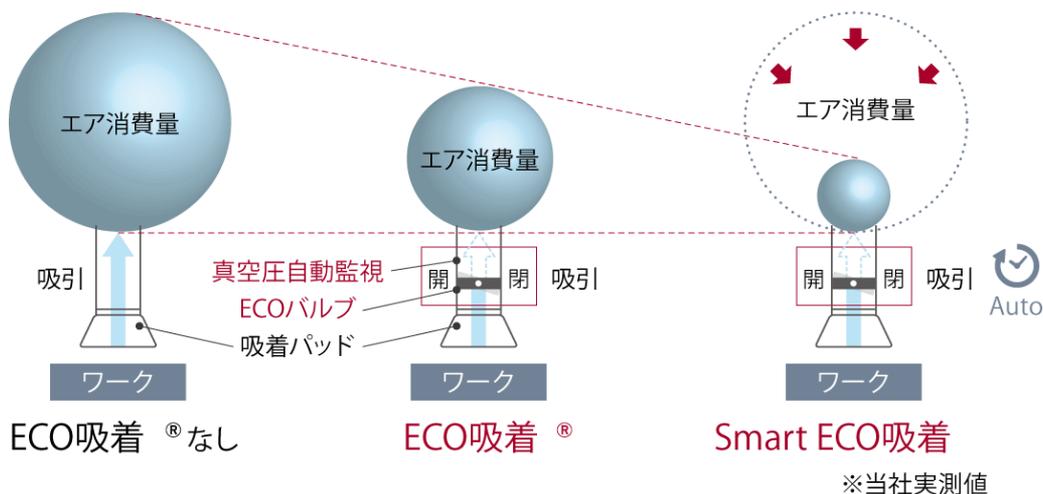
戦略② グローバル競争力の強化

戦略① 商品力の強化

➤ 環境配慮型ロボットの展開

Smart ECO吸着(PAT.P)で省エネに貢献

最大 **78%** 削減*



YDシリーズ (2021年11月発売)



RC-SEシリーズ (2021年7月発売)

- 長年こだわり続けている**高速**取出口ロボットを拡充
- 主に医療、エレクトロニクス、容器関連業界でのニーズに応える
クリーンルーム対応



超高速取り出しを実現「CTM-V」
(2022年10月発売)



サイドエントリータイプ「SX-41」
(2021年7月発売)

- **地域特性**に応じた商品開発
- **ヨーロッパでの拡販**（ポーランド、フランスに代理店設置など）
- 各国のトップクラス企業をターゲット / ローカルユーザーの更なる獲得
- ブランド力の向上 **ショールームオープン**



ショールームをオープン（2023年2月）



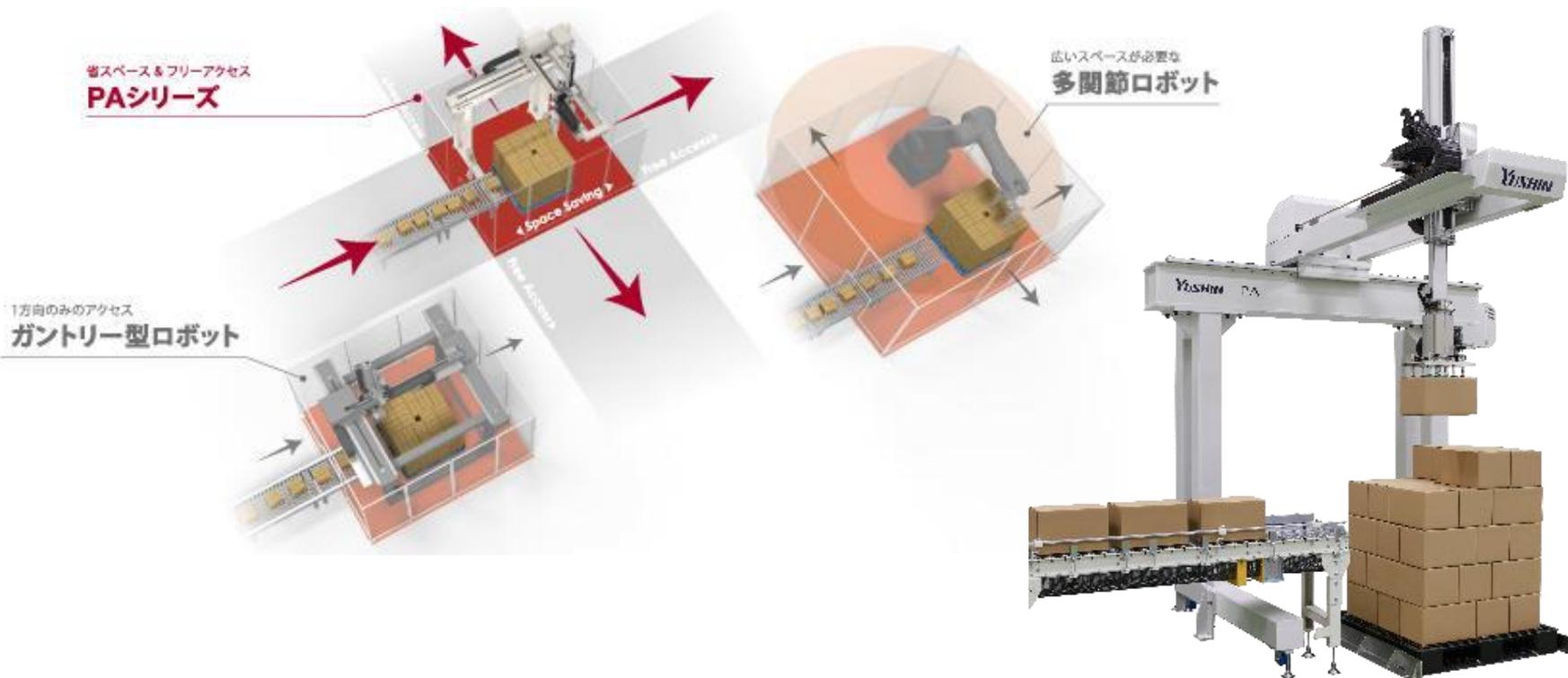
アメリカ向け大型取出ロボット「MKA」

- 「まず、想いとどく」をコンセプトにブランド・人財育成ポリシーを策定
- 仕事のやりがい・働きやすさの向上に向けた環境づくり
創造性・主体性を持った人財を養う「イノベーションプロジェクト活動提案制度」
- 成長のステージに応じて支援するための教育制度の充実
技術研修(eラーニングも整備)、次世代リーダー育成、マネジメント研修
- グローバルレベルでの多様性確保に向けた中途採用者・外国籍の人財活用
- **女性の積極活用**により女性管理職割合4.7% (業界平均3.6%※)



※ 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」生産用機械器具製造業平均値 (2022年5月公表)

- パレタイジングロボット「PA」シリーズ発売（2020年6月）
 - 食品業界等を主とした**新しいユーザー層**の獲得
 - 省スペース&フリーアクセスをアピール



持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値の向上に向けて、
5つのマテリアリティ(重要課題)を特定しております。

■ 事業を通じた社会課題の解決



1. 労働安全性の強化
2. お客様工場の生産性向上
3. 気候変動への対応

<取り組み事例>

- ・安全性能を高めた商品の開発
- ・労働安全に関するスクール提供
- ・高速、高精度なロボットの開発、販売
- ・省エネ商品の開発、販売

お客様とともに
目指すGoals



■ YUSHINグループの持続的成長に向けた経営基盤の強化

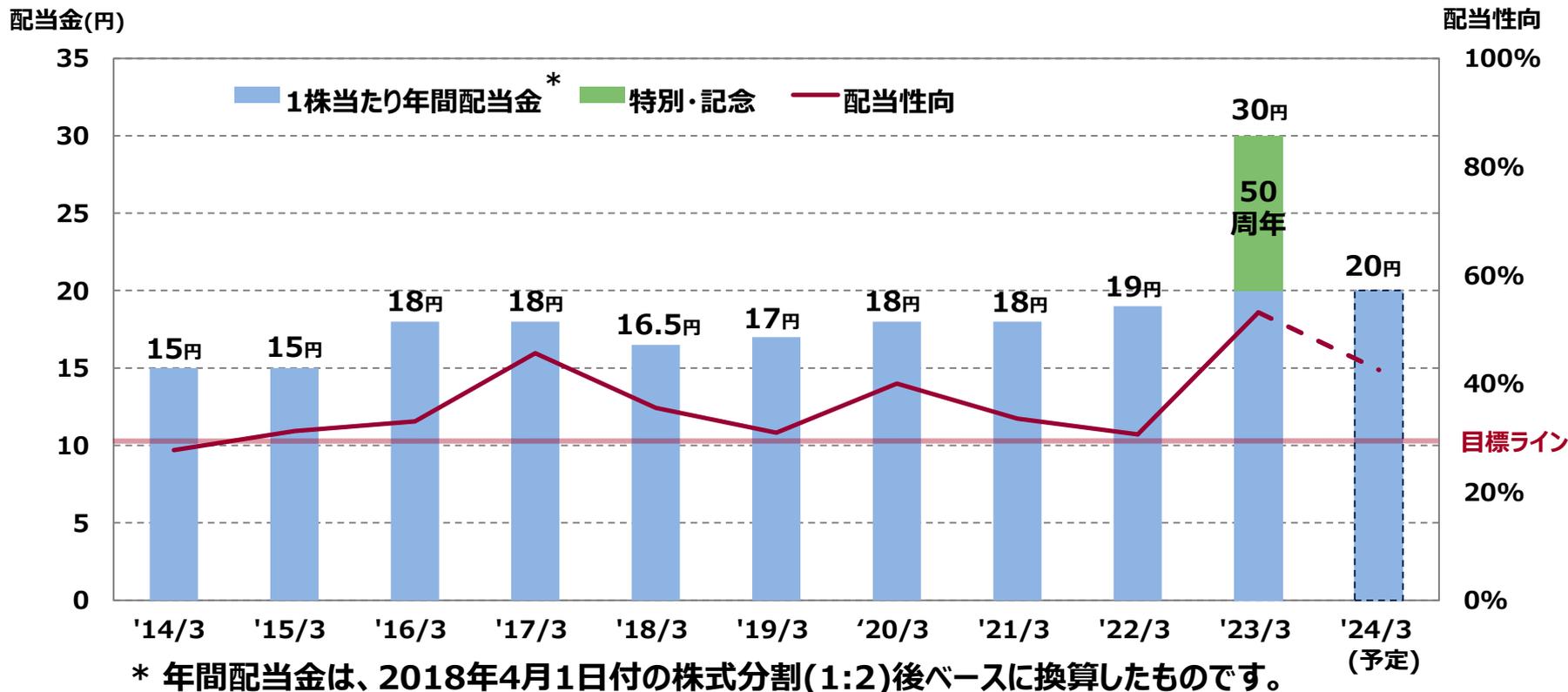


4. 人的資本の強化
5. コーポレート・ガバナンスの強化

- ・イノベーションが起こりやすい風土、環境づくり
- ・それぞれのライフステージに対応した継続的に働ける制度
- ・コーポレート・アイデンティティ(CI)の浸透
- ・取締役の1/3以上が社外
- ・指名・報酬委員会設置 (委員長は社外取締役)

▶ 配当方針

- ・安定的かつ継続的な株主還元を実現するため、配当性向は30%以上を目標。
- ・機動的かつ持続的な投資に備え内部留保を充実、研究開発には毎年一定額の投資を優先させることで、連結業績を向上させ、普通配当水準の引き上げを図る。



参考資料

社名	株式会社ユーシン精機
代表者	代表取締役社長 小谷 高代
設立	1973年10月
資本金	19億8,566万円
社員数	715人 (2023年3月末現在、連結)
連結売上高	223億円 (2023年3月期)
事業内容	産業用直交型ロボットを中心に工場自動化に関連する装置・システムの開発、製造、販売。
上場	プライム市場
証券コード	6482
売買単位	100株



技術力

- スピードへのこだわり
- 振動制御技術 (特許取得)
- 省エネルギー商品開発

幅広いユーザー層

- 大企業から小規模工場まで
- グローバルに展開
- 多業種

信用

- お客様の生産を止めないサポート力
- 的確な提案力
- 納期厳守

財務体質

- 無借金経営を継続
- 高い自己資本比率
- ファブライト経営

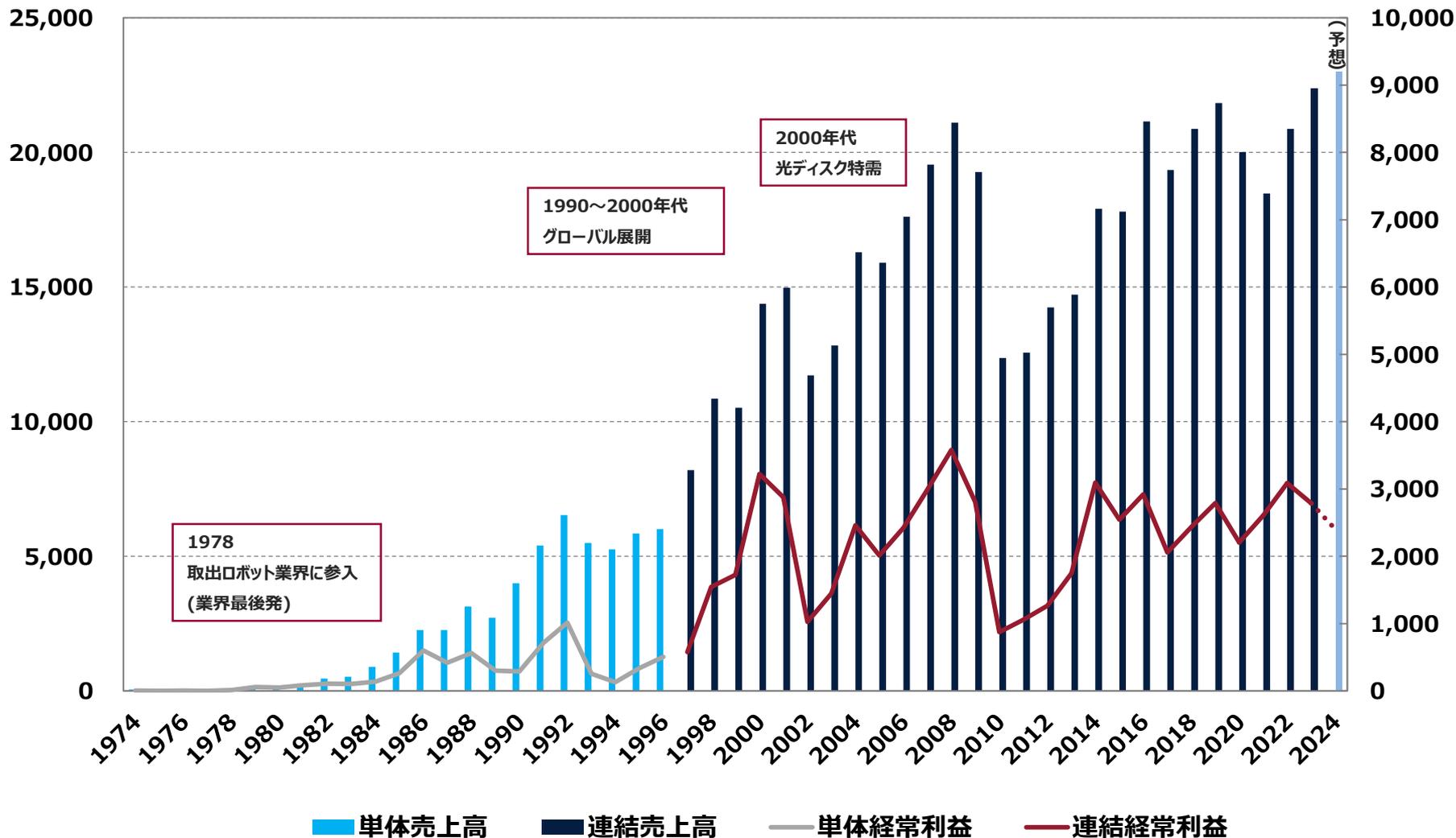


シェアNo.1

(参考) 業績推移

売上高 (百万円)

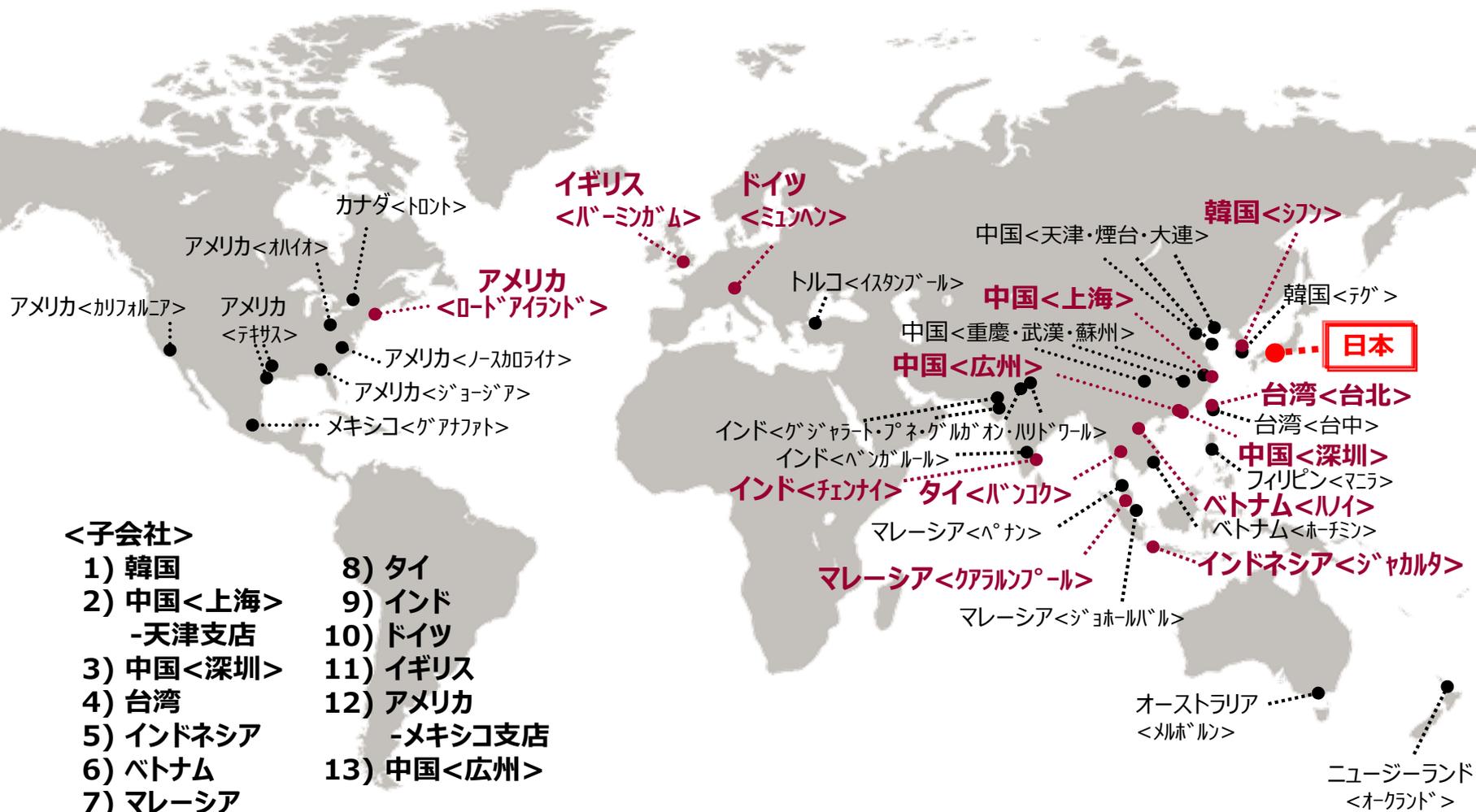
経常利益 (百万円)



(参考) 子会社の業績推移

(百万円)

国名	設立時期	出資比率	2022/3			2023/3		
			売上高	営業利益	当期利益	売上高	営業利益	当期利益
韓国	2000.10	100.0%	1,268	77	66	1,400	90	73
中国(上海)	2007. 2	100.0%	1,772	76	52	1,483	18	33
中国(深圳)	2004. 4	100.0%	922	36	37	747	13	16
台湾	2001. 7	100.0%	88	8	7	90	0	0
インドネシア	2012.11	99.0%	263	10	5	259	10	5
ベトナム	2014. 2	100.0%	86	12	9	137	23	18
マレーシア	2001. 5	100.0%	224	13	12	209	12	9
タイ	2001. 8	49.0%	815	33	29	996	98	94
インド	2007. 8	95.0%	58	△5	△5	80	2	1
ドイツ	2019. 6	100.0%	32	△31	△31	37	△50	△46
イギリス	2004. 3	95.6%	1,251	188	150	1,920	202	176
アメリカ	1988.10	100.0%	4,027	496	377	4,650	567	427
中国(広州)	2008. 9	100.0%	2,097	254	233	1,669	179	128



<子会社>

- | | |
|-----------|------------|
| 1) 韓国 | 8) タイ |
| 2) 中国<上海> | 9) インド |
| -天津支店 | 10) ドイツ |
| 3) 中国<深圳> | 11) イギリス |
| 4) 台湾 | 12) アメリカ |
| 5) インドネシア | -メキシコ支店 |
| 6) ベトナム | 13) 中国<広州> |
| 7) マレーシア | |

<駐在員事務所>

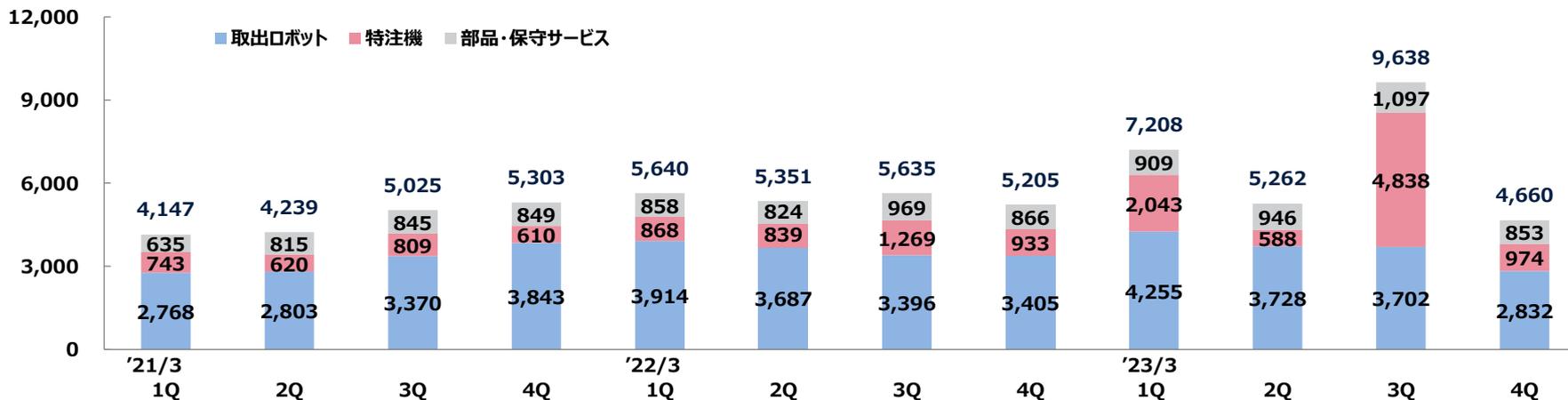
- 1) フィリピン

- 子会社
- 支店、駐在員事務所、サービス拠点、総代理店

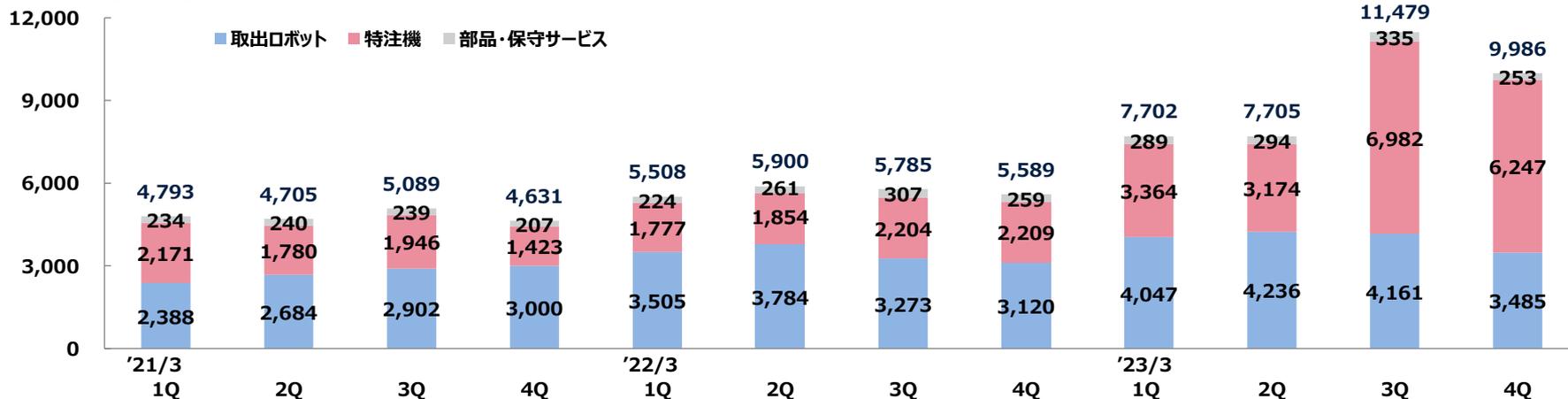
(参考) 受注高・受注残高推移 (四半期毎)

- 取出口ボットの受注は堅調に推移するなか、直近は中国市場の影響もあり減速
- 特注機は、2023年3月期3Qに医療向けの大型案件を受注、2024年3月期下期以降に売上予定

受注高 (百万円)



受注残高 (百万円)



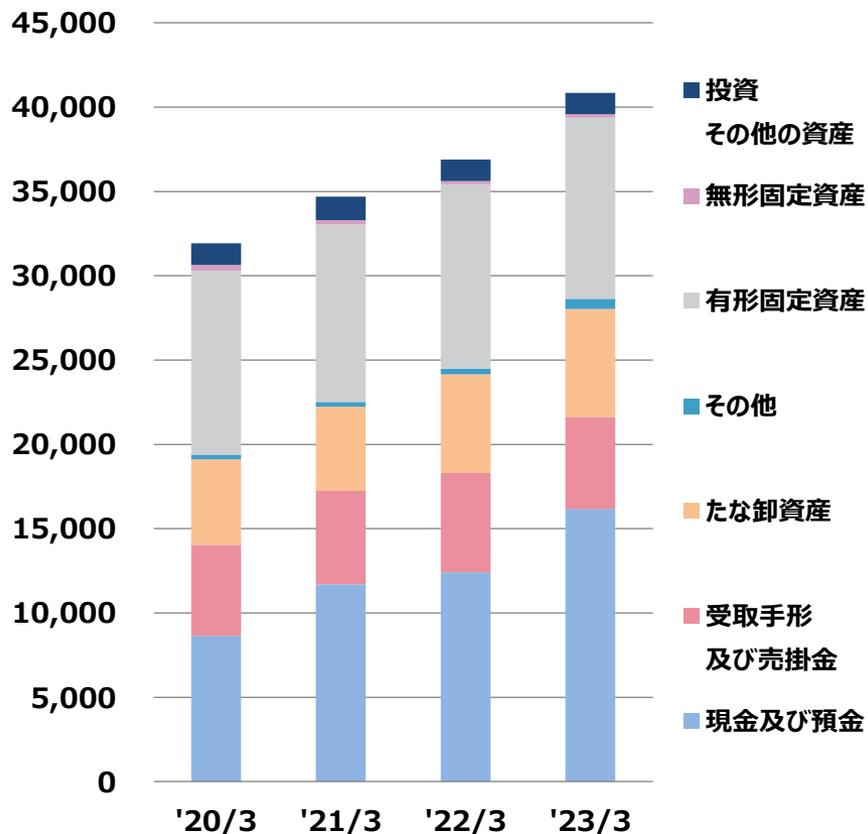
(参考) 貸借対照表

➢ 将来の機動的な投資に備え、**現金及び預金**が増加

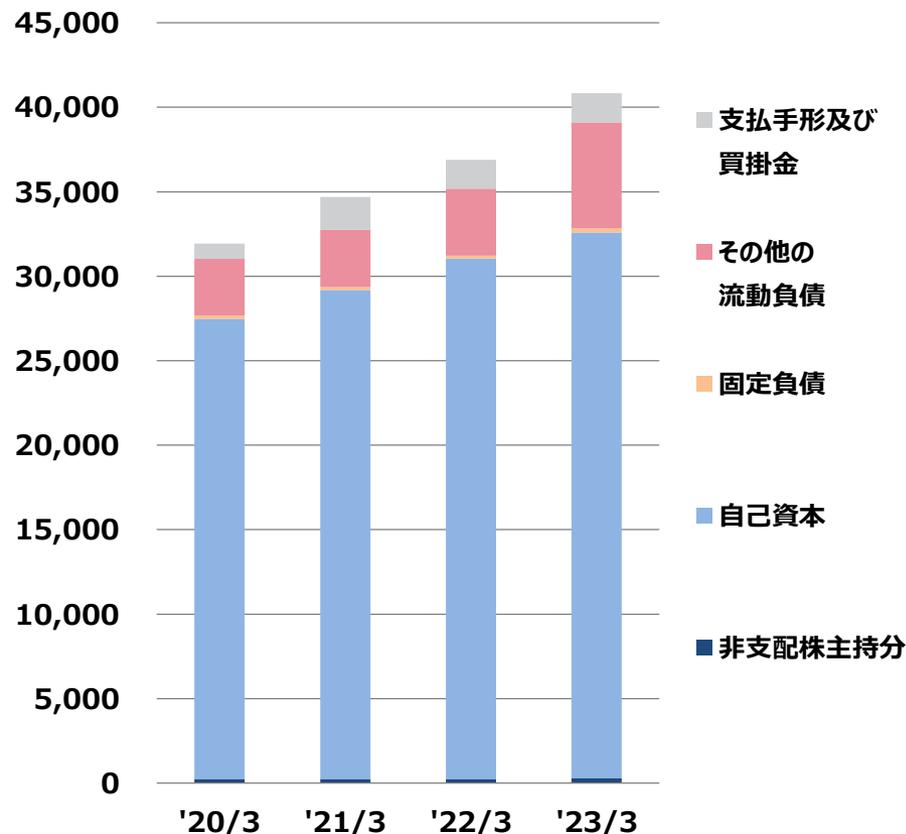
➢ **前受金**により、その他の流動負債が増加

➢ 高い自己資本比率、有利子負債ゼロを継続

◆資産 (百万円)

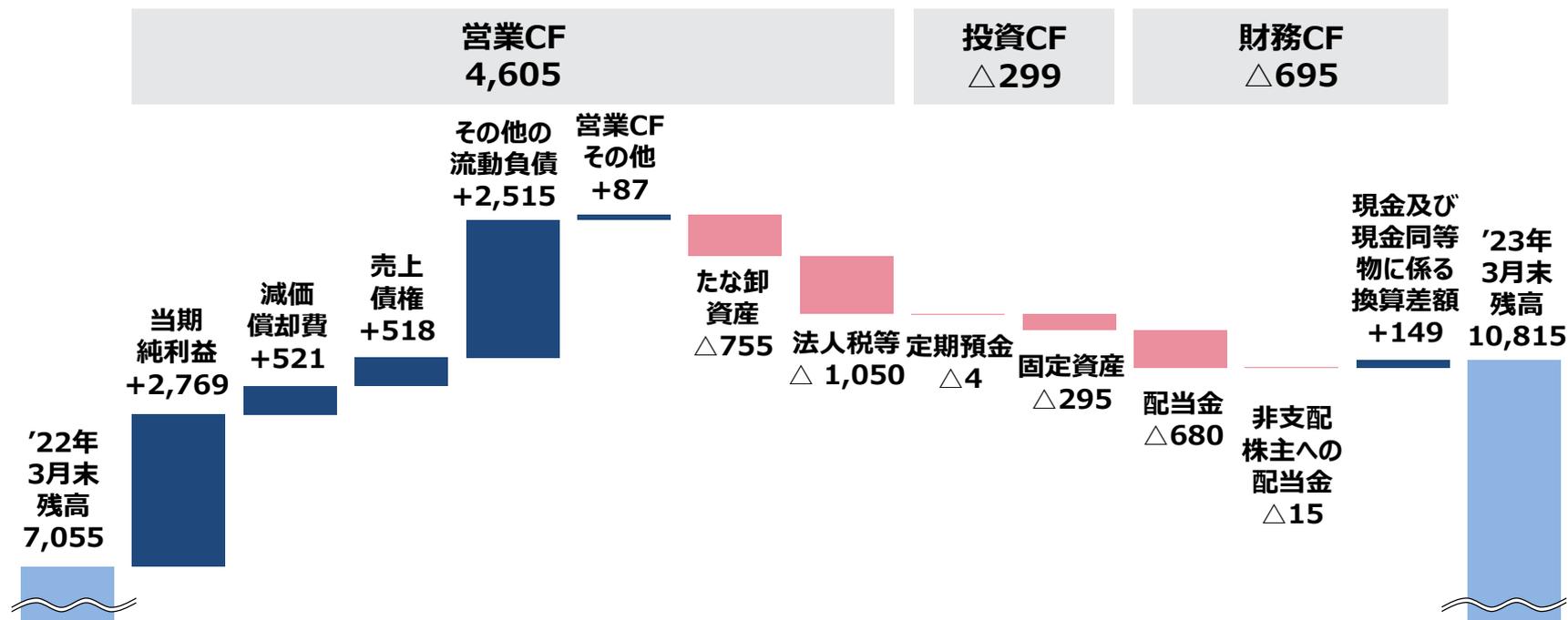


◆負債・純資産 (百万円)



(参考) キャッシュ・フロー(CF)分析・推移

◆主なキャッシュ・フロー分析 (百万円)



◆営業、投資、財務キャッシュ・フローの推移

(百万円)

	'18/3	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3
営業CF	1,223	2,291	3,558	3,487	2,083	4,605
投資CF	△2,511	△61	△1,475	△1,987	△1,341	△299
財務CF	△659	△1,316	△946	△561	△763	△695

取出口ロボット

FRAシリーズ
＜横走行タイプ＞



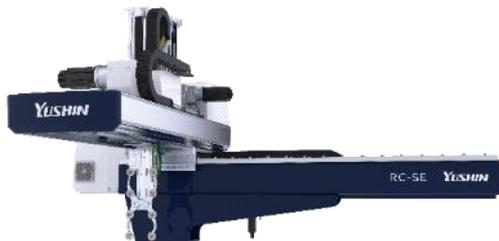
HSAシリーズ
＜横走行タイプ＞



HSTシリーズ
＜横走行タイプ＞



RCシリーズ
＜横走行タイプ＞



YDシリーズ
＜横走行タイプ＞



SDシリーズ
＜横走行タイプ＞



HOPシリーズ
＜スイングタイプ＞



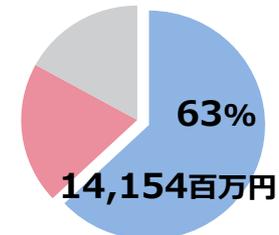
TSXAシリーズ
＜サイドエントリータイプ＞



**パレタイジング
ロボット**



売上構成比



2023年3月期

特注機

フレキシブル
モジュールストッカ



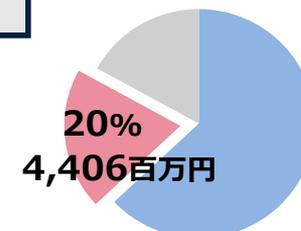
インモールド装置



ゲートカットシステム



売上構成比

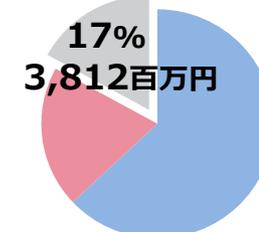


2023年3月期

部品・保守サービス

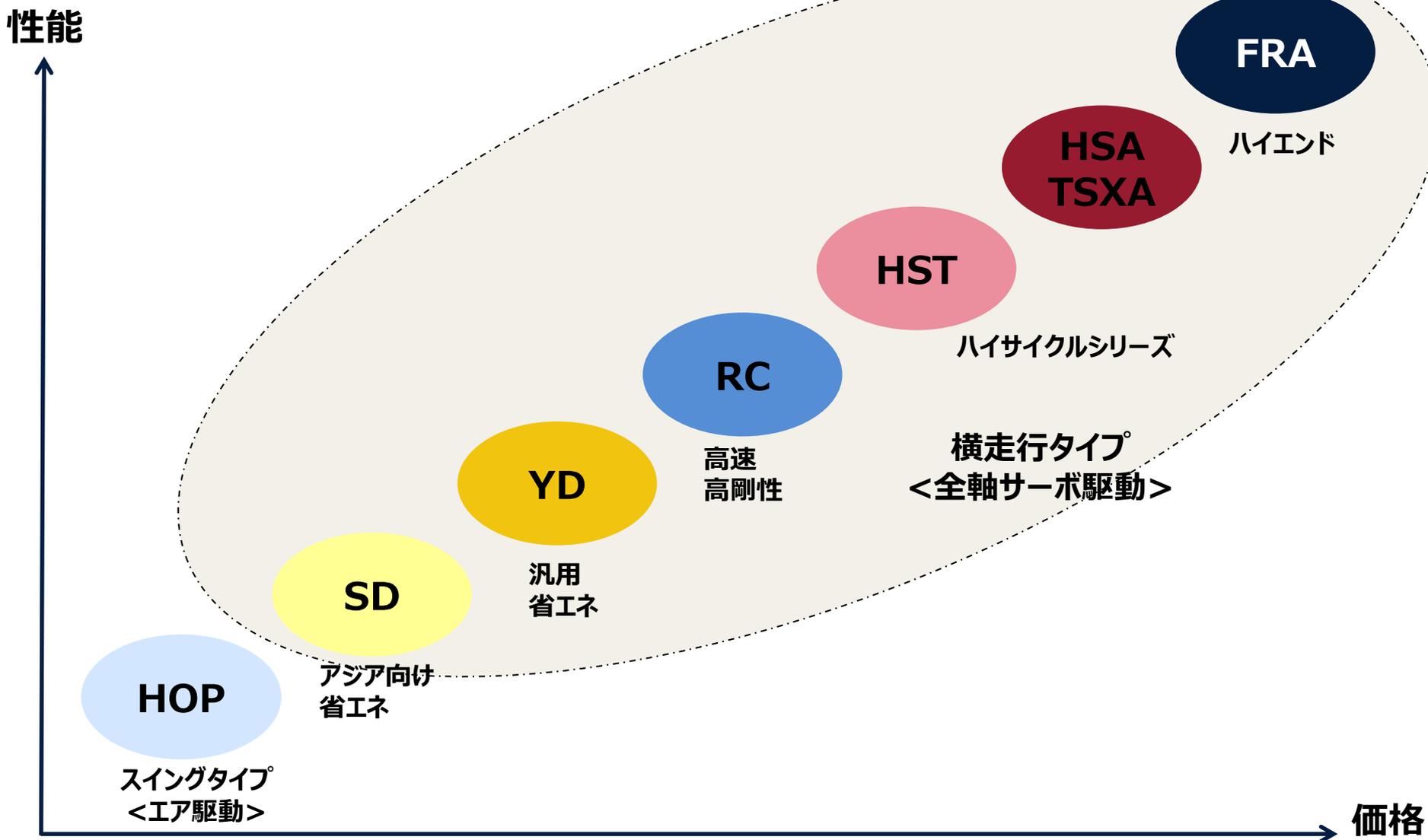


売上構成比



2023年3月期

(参考) 取出口ボットの性能と価格



E 環境

<環境配慮商品>

・**省エネ商品開発** (優秀省エネ機器・システム表彰の受賞)

<気候変動・脱炭素への取り組み>

・**再生可能エネルギー由来の電力へ切り替え**

・**TCFD提言に基づく情報開示**

S 社会

<人権>

・**YUSHINグループ人権方針制定とリスク特定**

<お客様工場の働き方改革>

・**工場全体の自動化システム提供**

<安心・安全>

・**世界最高基準の安全規格搭載ロボット販売**

<働きやすい環境づくり>

・**健康経営・安全衛生の推進**

・**法要請を上回る育休、時短制度**

G ガバナンス

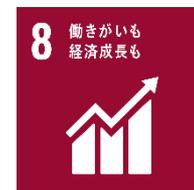
<ガバナンス体制の強化・ダイバーシティ>

・**役員11名のうち、女性2名、社外役員5名**

・**実効性評価による取締役会の改善**

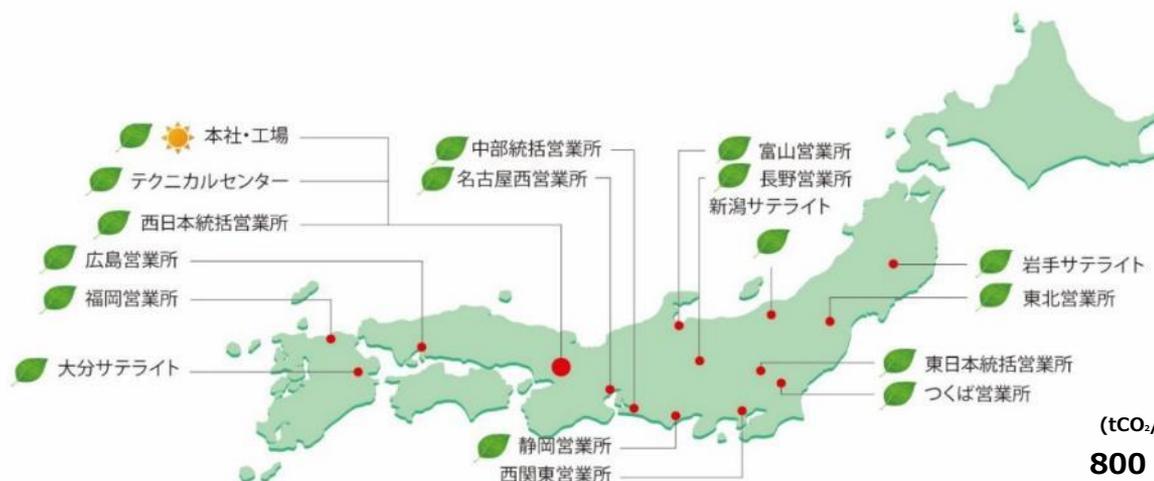
・**社外役員を委員長とした指名・報酬委員会**

関連する SDGs項目

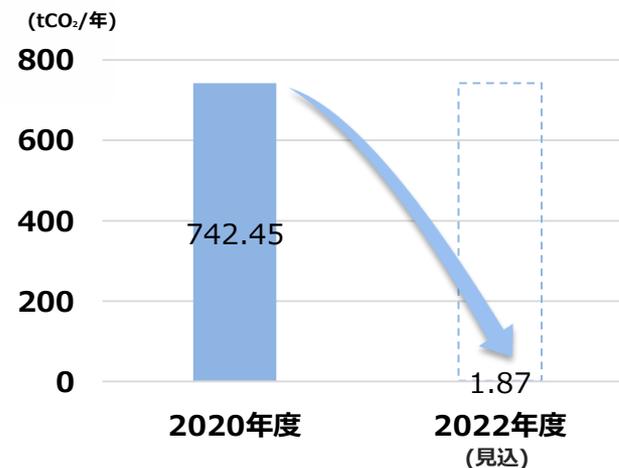


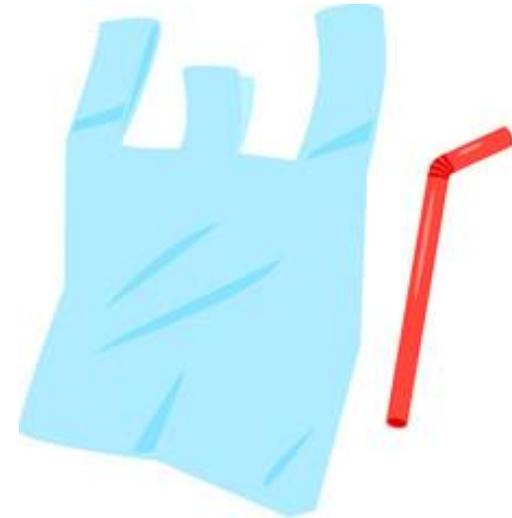
- 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言賛同 (2022年4月)
- 再生可能エネルギー由来の電力へ切り替え (2022年4月)

🌿 再生可能エネルギー由来の電力使用拠点
☀️ 太陽光発電電力の自家消費拠点

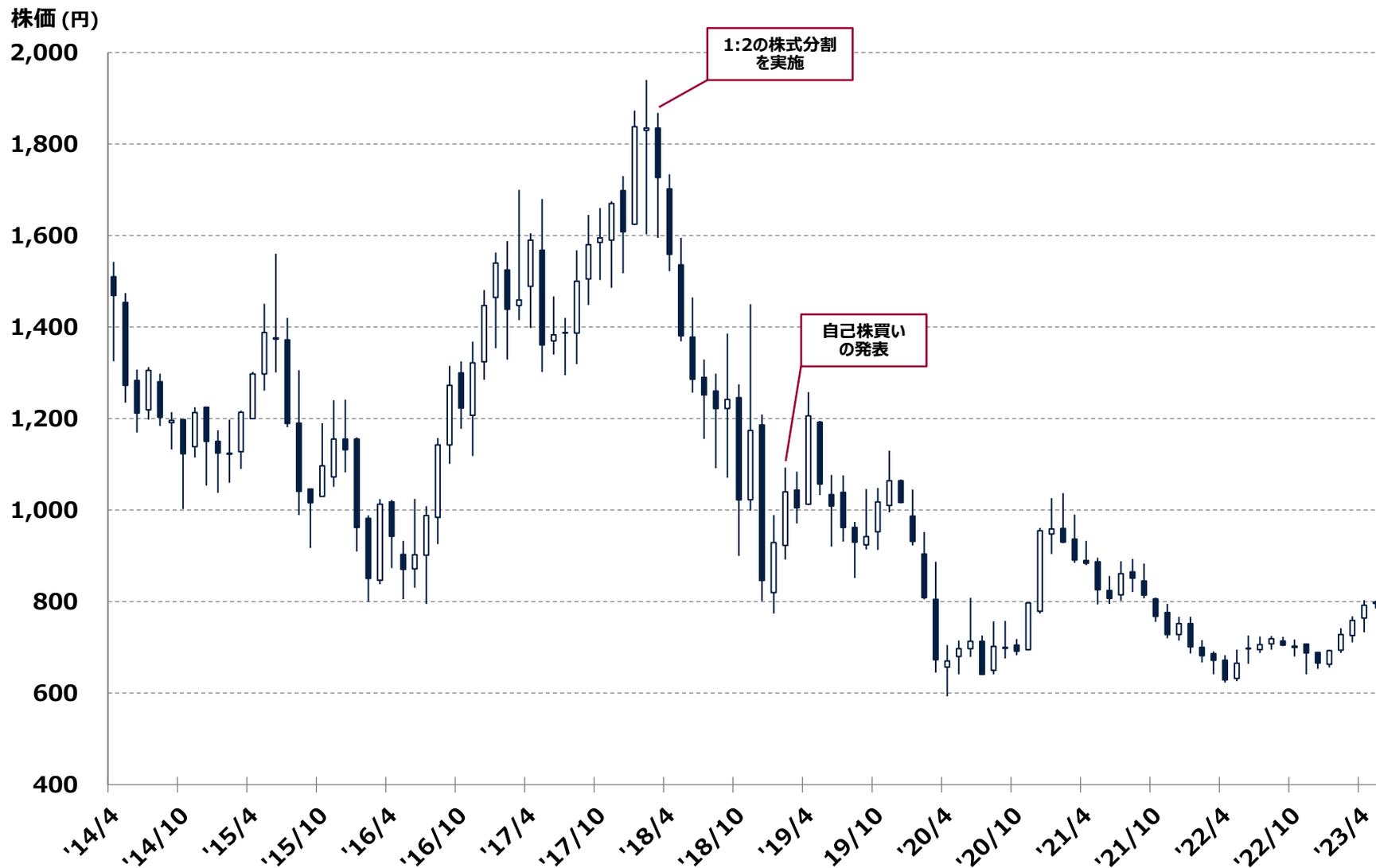


電力によるCO₂排出量(単体)





(参考) 過去10年間の株価推移 (月足)





問合せ先：株式会社ユーシン精機 経営企画室
(TEL) 075-933-9555 (E-mail) irinfo@kyo.ype.co.jp
<https://www.ype.co.jp>

IRサイトでは、説明会情報や各種資料を配信しています。

<https://ir.ype.co.jp/ja/Top.html>

こちらのQRコードからもアクセスできます。→



注意事項：

本資料には、業績に関する将来予測の記述が含まれております。これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、実際の業績とは異なる可能性があります。ことにご留意ください。

又、本資料は財務情報、経営情報等の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。

本資料の転載をご遠慮下さい。